

シンガポールからわずか 50km 圏内に巨大な工業団地 ～東京ドーム 900 個分の開発計画～

シンガポール事務所

シンガポールは資源の乏しい都市国家です。その経済を支え、更に成長する上で製造業の発展は欠かせません。この国家戦略のもと、隣国インドネシアと協力し、シンガポール近郊のインドネシア領内の自由貿易地域にいくつかの工業団地を開発しました。今回、そのうちの1つピンタン工業団地を視察する機会を得たため、その結果をご報告します。



工業団地内の管理棟における説明

1. ピンタン工業団地の概要

1) 地理的状況

ピンタン島はシンガポールから南東へ約45kmに位置しており、シンガポールのフェリー港（タナメラ）から約50分の距離にあります。フェリー便は1日5～8便あり、交通の便は良好です。ピンタン島の面積は約1,030km²（シンガポールの約1.7倍）人口18万人と比較的小さな島です。島の北部には、世界的に有名なリゾート地域があります。

工業団地は島の西側にあり、工業団地専用の港もあります。工業団地の開発面積は500haあり、このうち22%にあたる110haが開発済です。さらに4,300ha（東京ドーム900個分）の大型開発プロジェクトがあります。

2) 開発の経緯

1989年にシンガポールとインドネシアは経済協力協定を締結しました。その後、2006年に両国間で近接するバタム島、ピンタン島、カリムン島（以後、BBK地域という。）に「経済特区（SEZ）」設置の覚書に調印しました。さらに、2007年インドネシアはBBK地域を「経済特区」に指定する前段階として「自由貿易地域（FTZ）」に指定しました。BBK地域はインドネシアでは唯一の自由貿易地域となっています。

このピンタン工業団地はシンガポール政府系企業、セムコープ・インダストリー社が開発しました。

3) 進出のメリット

- ・コスト競争力が求められる製造はピンタン工業団地、開発・人事・営業などの管理部門は社会的なインフラ（物流、金融、情報など）の発達したシンガポールと分業体制が構築できる。
- ・豊富で廉価な労働力を得られる。

- ・ 調査→投資→立ち上げ→操業を工業団地が一貫して支援する。
- ・ 国際港（注）として、シンガポールとの間を行き来する人・貨物を取り扱う機能のある港が工業団地に直結（工場から徒歩も可能な距離に位置）している。

（注）国際港（通関・入国管理などの機能を備えている港）

- ・ 標準工場の賃貸、土地を購入し自社工場建設のどちらにも対応している。
- ・ 現在の自由貿易地域（注）から将来の経済特区へ投資環境は更に改善する方向にある。

（注）自由貿易地域（関税がかからない、付加価値税がかからない、100%外資許可、外国為替の制限がない等）

4) 主なインフラ設備

通信：1,000回線が通信可能なテレコムタワー

電力：発電設備21,000キロワット

下水処理：13,000人分

上水施設：7,500立方メートル

駐在員用 Condominium、従業員寮、食料品小売店舗、レストラン完備

5) 工場建屋

ビンタン工業団地では工場建屋は、原則、標準タイプのものを賃貸することになっています。購入も可能です。

※標準賃貸工場3種類賃貸面積500~2,100㎡



工業団地内の工場の風景

6) 団地の物流

ビンタン工業団地の港湾物流は効率化を図るため、Toll Logistics 1社にしています。

7) 企業の進出状況

現在のビンタン工業団地における入居者は23社あります。業種別内訳は、IT 関連が32%も最も多く、衣料品24%、電子関係8%が続きます。また、国籍別ではシンガポールが60%、日本20%となっています。

2. 工業団地進出企業へのヒアリング

次に工業団地に進出している次の日系企業にヒアリングを実施しました。

1) PT. YoshikawaElectronics Bintan (YEB)

設立：1997年8月

稼働：1998年3月

株主：吉川工業（株）（本社：北九州市）

事業内容：LEDの組立、基板の組立

従業員数：828名（男316名、女512名）うち日本人7名（3月末現在）

敷地面積：10,000平方メートル

建物面積：第1工場6000平方メートル、第2工場1900平方メートル



PT. Yoshikawa Electronics Bintan

2) ヒアリング内容

- ・親会社吉川工業は半導体のテスター組立では日本で第2位。
 - ・1990年に主要な取引先がタイに工場を建設したため、親会社が海外進出を計画。メイソバンクの紹介により、当地に工場を建設。
 - ・大量生産するものは当工場、多品種少量生産するものは日本と分業体制をとっている。
 - ・インドネシアはイスラム教国であるためか、労働者は真面目。質は高い。
 - ・こちらの労働法の関係により3年（注）で労働者の入替えを行っている。
- （注）3年以上勤務した場合には正社員として雇用する義務が生ずる
- ・取引先の開発部が大阪にあるため、開発はすべて日本で行っている。
 - ・2011年からLEDの量産を開始した。
 - ・こちらでは知的財産権がしっかり守られている。
 - ・ベトナムでは労働者が不足している。

3. おわりに（所感）

日本ではビンタン島というリゾート地として有名です。その島に大きな工業団地があるとは知りませんでした。

シンガポールは土地が狭い上に人件費が高く、製造業には向きません。しかし、このよう

にインドネシアと協力し、BBK 地域を利用することで製造業を集めています。まさにシンガポールの製造業を支えるために戦略的に開発された工業団地といっても過言でないでしょう。しかし、ビンタン工業団地は交通の利便性、開発規模など有利な条件を備えているにも関わらず、知名度が低いため企業の進出は今一步の感が否めません。今後、世界に向けていかに情報を発信していくかが成功の鍵となるのではないのでしょうか。

4. 補足・参考

シンガポールを軸に製造拠点の海外進出を検討しており、ビンタン工業団地について詳しい情報が欲しい、現地視察をしたいなどのご希望のある企業の方は、クリア・シンガポール事務所、または、次の連絡先にお問い合わせをお願いします。

セムコープ・パークス・マネジメント社

マーケティング部アシスタントバイスプレジデント 長谷川彰様

Tel : +65-6723-3969 携帯 : +65-9755-5482

FAX : +65-6723-3902

E-mail : akira.hasegawa@sembcorp.com

住所 : 30 Hill street #03-01 Singapore 179360

(長濱調査役 埼玉県派遣)

